

CSRレポート 2021

株式会社 神田組

皆さまへ

top message

弊社では2021年、創業20年目の節目に経営者と従業員が共に議論をし、新たに企業指針を定めました。この指針を元に、経済的・環境的・社会的な側面に配慮した事業活動をおこなっております。大きな企業ではありませんが、社会の要請や変化に、常に前向きに対応することで、持続可能な社会に貢献できるよう、CSR活動を推進しています。

／ 企業理念

Always more than you thought

— お客さまが思う以上のことを —

／ 企業指針

- ・ひとりひとりが安全を最優先に考える
- ・3Kからの脱却、清潔感のある企業に
- ・さまざまな工場での実績を積み、その経験を蓄積する
- ・社会の流れに合わせ、時代の変化に柔軟に対応する
- ・若い人材を積極的に雇用し、会社組織の新陳代謝を図る
- ・設備への投資を惜しまない
- ・社内外問わず、情報交換を迅速におこなう

トピックス

topics

コロナ禍による甚大な影響を建設業全体が受ける昨今、弊社も例外ではありません。このような情勢のもと、弊社では自社のブランディングと共に、情報発信に注力。5年10年先を見据えた組織づくりを積極化しています。

- ／ ひょうご産業活性化センターが主催する2021年10月度の「成長期待企業」に選出されました。経営の革新性や第二創業にチャレンジする意欲の高さが評価され、伊丹市の建設業では初選出。
- ／ 「ひょうご中小企業技術・経営力評価報告書」において、5点満点中の4(-)の高評価をいただきました。本年に当評価を受けた企業100社のなかで、4以上の評価を得たのは神田組含め2社のみでした。
- ／ 株式会社神田組を建築士事務所として登録。設計施工で工事を請け負えるようになりました。
- ／ HPを開設しました。



当社WEBサイトへは右のQRコードを読み取っていただくか、
<https://www.kandagumi.jp/> をご入力いただき、閲覧ください。



安全性向上への取り組み

improve safety

建築工事の施工管理においては、「品質」「工程」「コスト」「安全」の管理が主な業務だとされます。そのなかで工場営繕では、特筆して「安全」の比重が大きく、時には他を度外視しても「安全」を最優先することを求められます。弊社では、各工場のお客さまと共に安全な工事を実現するために、さまざまな取り組みをおこなっています。

／ヒューマンエラーの低減 / 4M活動

工事現場は「人」によって運営されている以上、必ず「ヒューマンエラー」が起こると私たちは考えます。そのエラーをなくすために、医療や航空業界のような「高信頼性組織」で採用されている手法を研究し、取り入れています。その取り組みの1つが4M活動。「戦略的エラー対策の4M」と呼ばれる事故対策の観点からエラーの発生防止と、エラーが事故に結びつかない対策を日々、実践しています。

M1 Minimum encounter
危険を伴う作業の低減

- ・工場ルールの順守、徹底
- ・各工場ルールの横展開

M2 Minimum probability
エラー確率の低減

- ・工事前 K Y
- ・使用器具の改善、製作

M3 Multiple detection
多重のエラー検出策

- ・施工前検討会
- ・リスク抽出
- ・現場巡視

M4 Minimum damage
被害を最小にする備え

- ・羅災時のシュミレーション
- ・グリーンファイルの制作
- ・保険の加入

M2 Minimum probability
エラー確率の低減

使用器具の改善、製作の一例

改善前



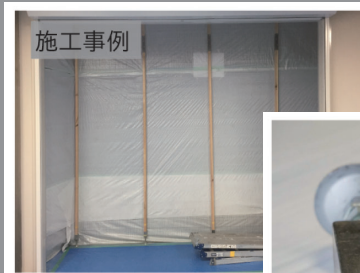
改善後



攪拌機の巻込防止カバー

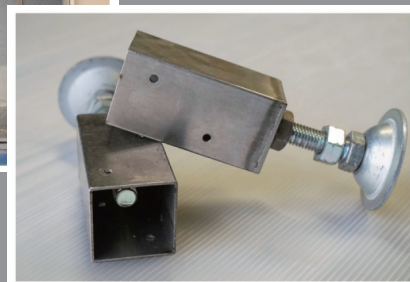
従来は塩ビパイプをテープで留めていたが、新たに筒状のステンレス製ガードを製作しボルトで固定した。

施工事例



伸縮ジャッキベース

寸3木材と組み合わせることで仮設壁を簡素化。資材の再利用も可能になった。



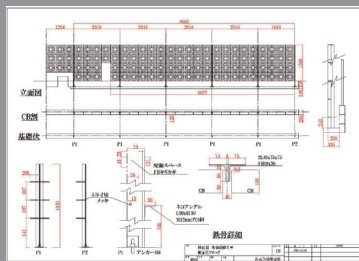
新規事業

new project

弊社のメイン事業である工場営繕は、クローズドな環境にあり守秘義務も多く、その成果を発信することができません。新規事業は、弊社が「これまで培ってきた土木、建築、修繕の技術を発信する」をテーマに取り組んでいます。

／沖縄建材プロジェクト

花ブロックや琉球石灰岩など沖縄の建材を使用したエクステリア工事の提案です。寸法の異なる工業製品などの未知の材料、気候や風土の違いによる影響を考慮し、現場に合わせて設計施工。2月竣工予定。



花ブロックの塗装【右】

複雑な形状の花ブロック。塗装工程の簡略化のため、ドブづけ塗装を施した。



／自邸建築プロジェクト第1弾「セルフケアハウス」

従業員が自邸を建築するプロジェクト。悪くなった部分がわかりやすく、治しやすい、セルフケアのできる家をつくりたい。まだアイデアスケッチの段階ですが、工場建築に使う頑丈で手に入りやすい建材、バタフライ屋根、従来より低めの天井高 2.38m などを構想中。

神田組

Always more than you thought